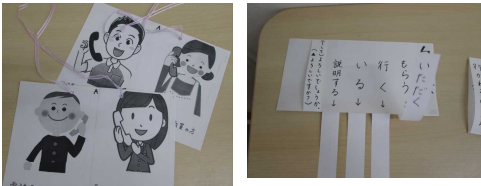


【作品名】 場面に応じた言葉をつかおう	【学校名】 日立市立久慈小学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動6 コミュニケーション（5） 5年・6年国語	【制作者名】 石井 容子
【制作の意図】 相手の立場に合わせた言葉遣いや場に応じた声の大きさを学ぶことができる。 敬語の種類とその使い方を学び、社会生活に必要なスキルを身に付けることができる。	【使用の方法】 話す相手や場面にふさわしい言葉遣いを選んで話す。 敬語の使い方や種類が分からない時は、ヒントカードを使って確認しながら話をする。
【制作上の工夫】 場面や状況が理解しやすいように、年齢や表情が分かりやすいイラストを用いる。学習したことが実際の生活の中で生かせるような具体的な場面を設定する。 友達に話すときとの違いを明確にさせ、敬語をつかう場面を印象づける。	【見取り図】 ヒントカード 悪いけどすみませんが 借りてもいいかな↓ お借りしてもいいですか。 よろしいですか。・・ ワークシート （場面）電話で伝言する （だれに）お父さんに （伝えたいこと）・・・
【写真】 	【使用効果と応用発展】 （使用効果） 目上の人である先生や、友達のお母さんなどに対して話すときに言葉遣いを気を付けようとする意識を持つことができた。敬語だけを使い分ければよいのではなく、話す内容や相手の状況によってふさわしい言葉遣いをする大切さも学ぶことができた。 （応用発展） 実際の生活場面を想定して、パターンを増やし、日常生活の中で定着を図る。 「〇〇先生はいますか」→「〇〇先生はいらっしゃいますか」など。
【材料・材質・部品等】 ケント紙のような厚紙 イラスト 場面を設定したワークシート	